

● 日本及びその周辺での主な地震活動

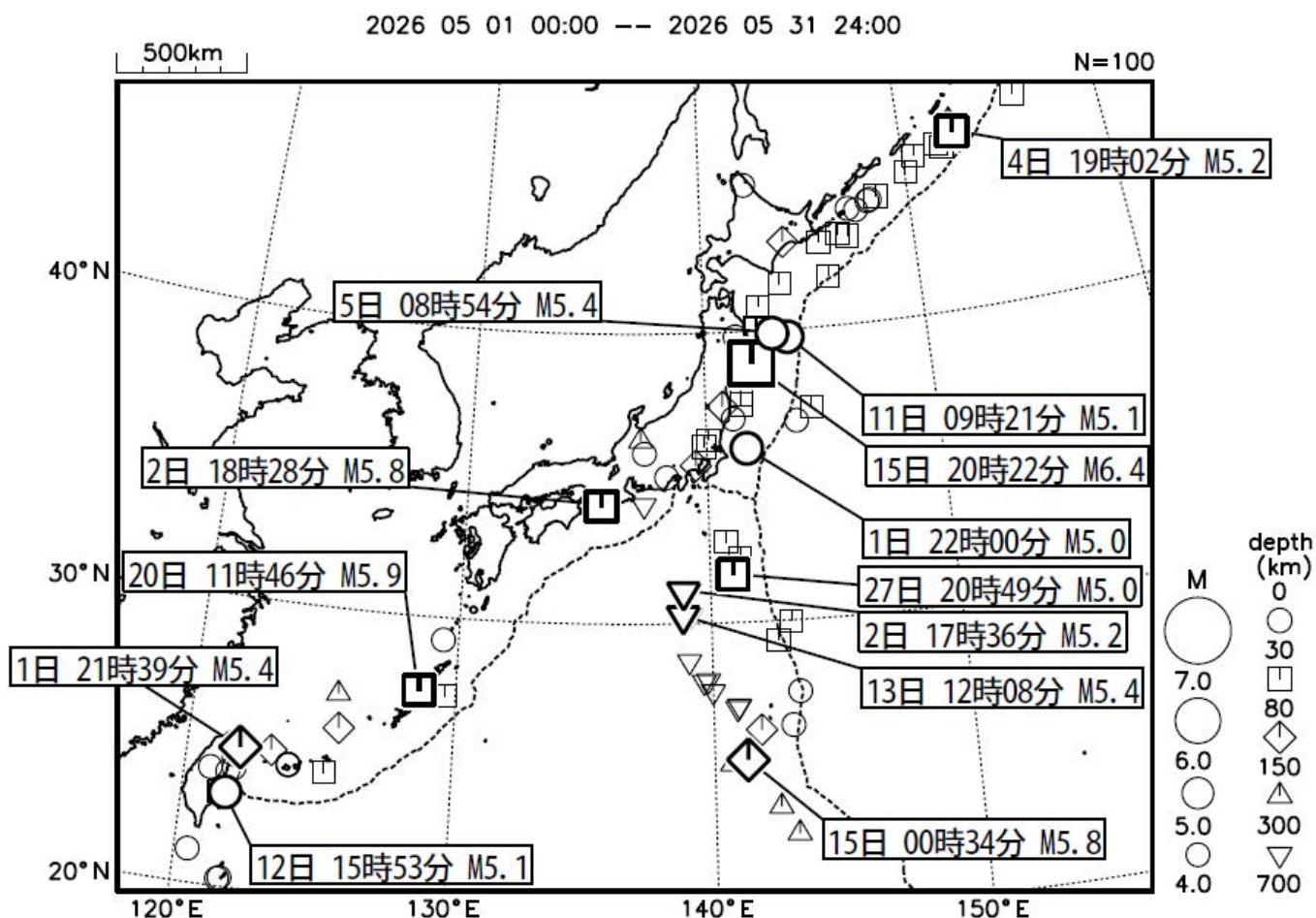


図1 令和8年5月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

(図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である。)

15日20時22分に宮城県沖の深さ46kmでM6.4の地震が発生し、宮城県大崎市、石巻市及び登米市で震度5弱を観測したほか、北海道から中部地方にかけて震度4～1を観測した。また、宮城県北部で長周期地震動階級3を観測したほか、東北地方で長周期地震動階級1を観測した。気象庁はこの地震に対して、緊急地震速報（警報）を発表した。

20日11時46分に沖縄本島近海（沖永良部島付近）の深さ50kmでM5.9の地震が発生し、鹿児島県与論町で震度5強を観測したほか、鹿児島県及び沖縄県で震度5弱～1を観測した。気象庁はこの地震に対して、緊急地震速報（警報）を発表した。この地震により、負傷者1人の被害が生じた（被害は5月28日17時00分現在、総務省消防庁による）。

令和8年（2026年）5月に日本国内で震度4以上を観測した地震は4回（4月は5回）、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は100回（4月は132回）であった（図1）。

5月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3、震度4以上を観測した地震の震度分布図を図4に示す。5月中に震度5弱以上を観測した地震は2回、津波を観測した地震はなかった（4月は震度5弱以上を観測した地震は5回、津波を観測した地震は1回であった）。

令和8年5月 地震・火山月報（防災編）

表1 令和8年5月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注1）（注2）（注3）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	Mw (注4)	M H S T (注5)	最大震度・被害状況等（注6、注7）	掲載 ページ
1	5 2 18 28	和歌山県南部（注8）	5.8	5.7	・ ・ S ・	4：和歌山県 日高川町土生＊ 御坊市湯川＊ 三重県 三重紀北町相賀＊ など3県21地点 緊急地震速報（警報）を発表	4、15
2	5 5 8 54	三陸沖	5.4	5.2	・ ・ ・ ・	3：岩手県 宮古市田老＊ 盛岡市藪川＊	9
3	5 14 5 1	岩手県内陸北部	4.8	4.5	・ ・ S ・	4：岩手県 盛岡市藪川＊ 八幡平市田頭＊ 葛巻町葛巻元木 など1県5地点	4、10
4	5 15 0 34	硫黄島近海	5.8	5.2	・ ・ ・ ・	3：東京都 小笠原村母島	21
5	5 15 20 22	宮城県沖	6.4	6.6	M ・ S ・	5弱：宮城県 大崎市田尻＊ 石巻市桃生町＊ 登米市登米町＊ 緊急地震速報（警報）を発表 長周期地震動階級3を観測	5、11
6	5 20 11 46	沖縄本島近海	5.9	5.9	・ H S ・	5強：鹿児島県 与論町茶花＊ 緊急地震速報（警報）を発表 被害：負傷者1人（5月28日17時00分現在）	6、17
7		西表島付近の地震活動			・ ・ ・ ・	西表島付近の地震活動 5月中に震度1以上を観測した地震が17回 （震度3：2回、震度2：7回、震度1：8回）	19

- （注1）主な地震とは、図1の領域内で発生した①M6.0以上、②震度4以上、③内陸 M4.5以上かつ震度3、④海域 M5.0以上かつ震度3、⑤その他注目した地震を指す。
- （注2）震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。
- （注3）空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。
- （注4）Mw欄の「-」はMwが求められていないことを示す。
- （注5）M H S Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。
- （注6）最大震度の観測点名にある＊印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。
- （注7）一連の地震活動で被害が発生した場合、その被害は代表的な地震（一連の地震活動の中で最大の震度を観測した地震や最大の津波を観測した地震など）にまとめて記載している。
- （注8）情報発表に用いた震央地名は「奈良県」である。

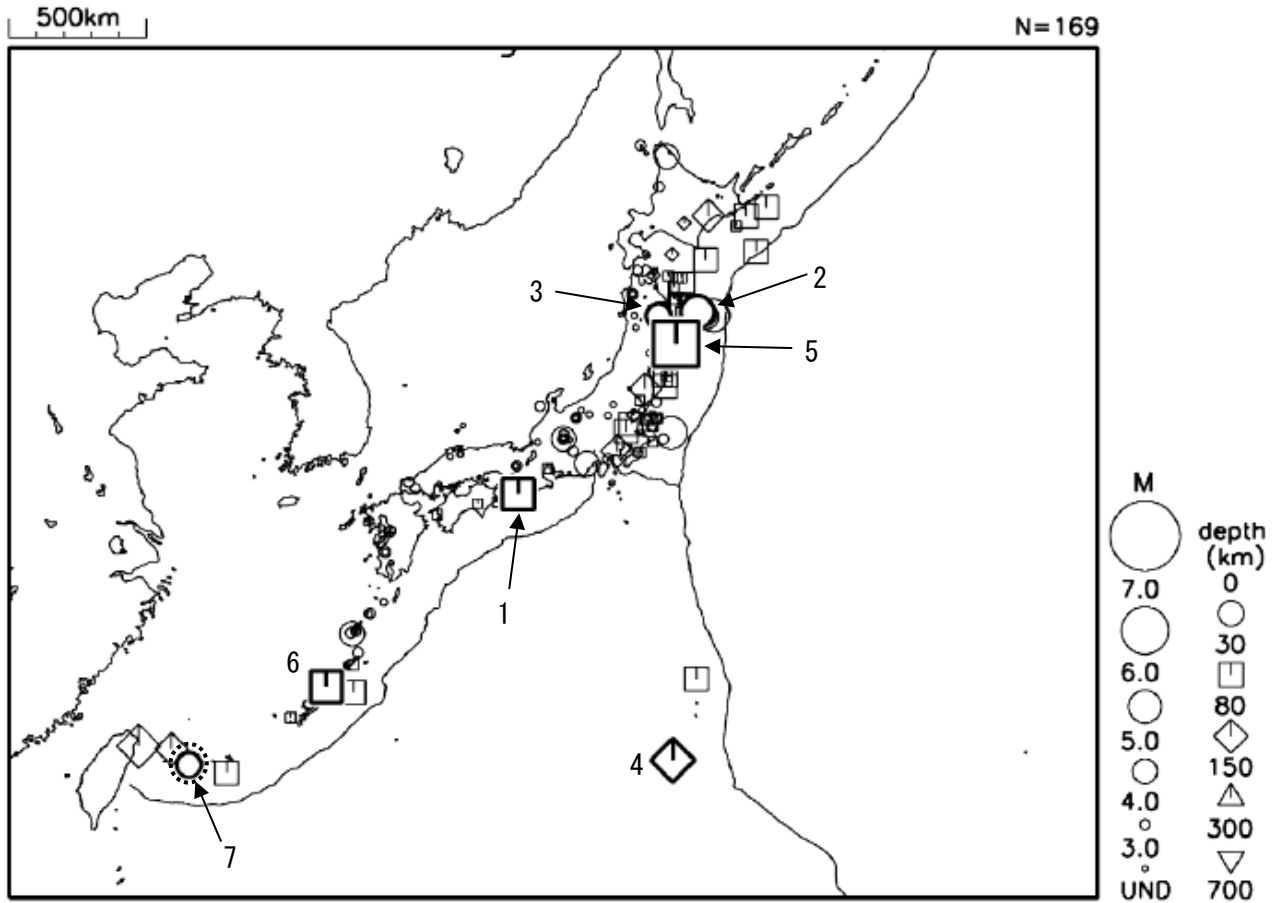


図2 令和8年5月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表の番号に対応）

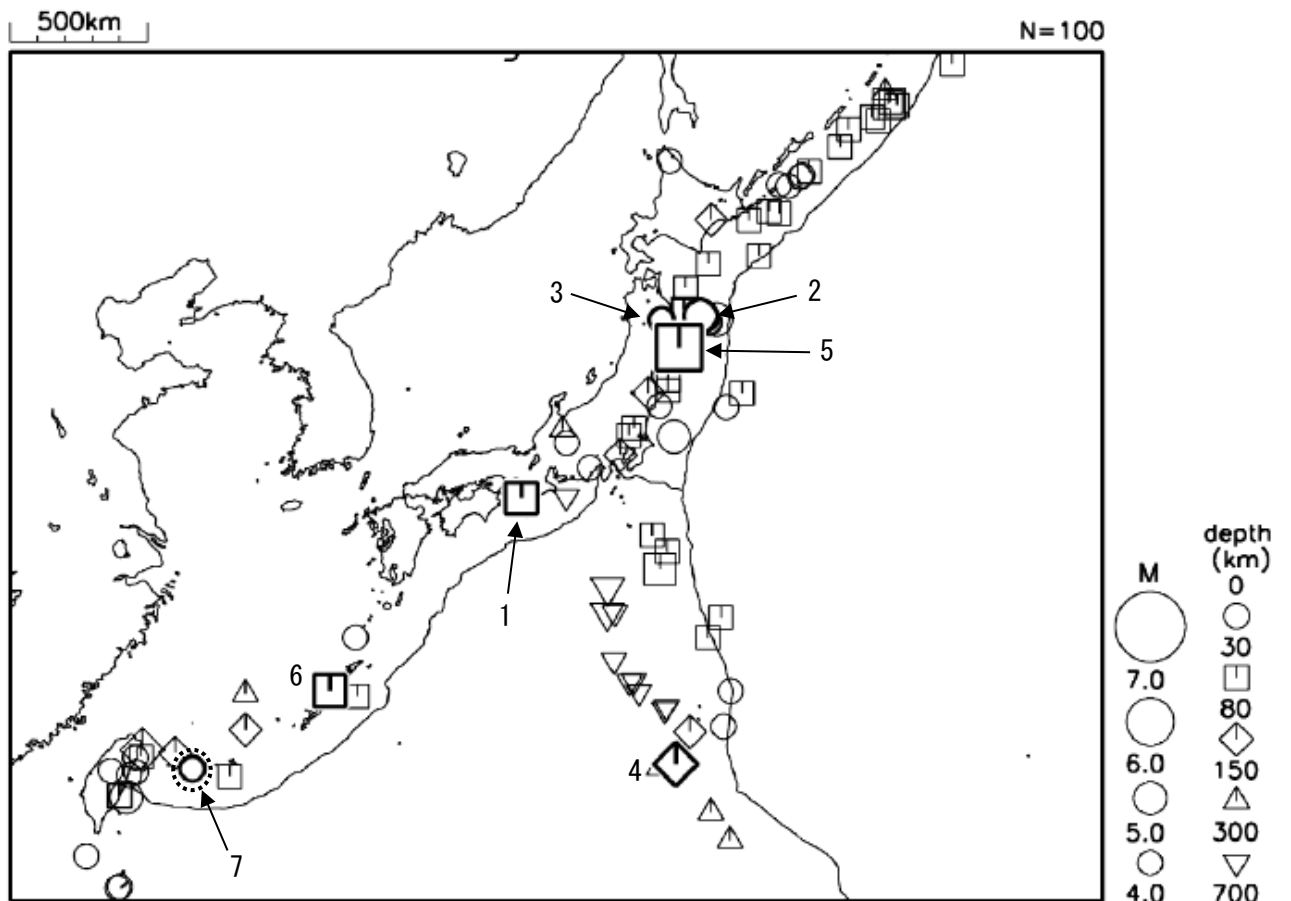


図3 令和8年5月に発生したM4.0以上の地震（図中の番号は、表の番号に対応）